

改善要望について 市長の考えは

「これまで同様、取り組んでいく」

そごう たくや 議員
十川 拓也 議員



議員 終電時刻の延長、ホームドア設置、通

勤快速の停車、増便等の混雑解消などの改善は。

市民生活部長 JR東

日本に、改善を継続要望していく。

議員 埼京線は早期改善が難しいとの回答が続き、進展が少ない。

埼京線

実現性、可能性があることから少しずつ進めていくことは大切。改善要望について、市長の考えは。現在、戸田市内を通る池袋からの3つの深夜急行バスの活用や、近郊駅からのシェアサイクル活用等、さまざま考えては。



埼京線（戸田駅）

駅周辺整備は

議員 戸田駅前の電線地中化、駅前広場、浸水対策の今後は。

都市整備部長 戸田駅

西口の電線地中化は、平成28～31年度に整備予定。西口駅前広場は、地中化完了後、平成32年度から整備予定。次に浸水対策は、新曽第二土地区画整理地区内の上戸田川整備を優先

的に進め、現時点で43メートルの整備が完了。今後、橋梁の新設および用地の確保を行う。

議員 戸田公園駅、北戸田駅の整備は。

都市整備部長 戸田公園駅は、「戸田公園駅西口駅前地区まちづくり協議会」を中心に、今後の方針を検討していく。北戸田駅は西口周辺の駅前広場、道路の用地確保を進めていく。

生活困窮者支援

脅しとも取れる文言は 削除すべき

「文章の取りやめも含め見直す」

ほんだ てつ 議員
本田 哲 議員

議員 滋賀県野洲市は、税金等の滞納は生活困窮のシグナルと捉え、自治体を挙げて生活再建支援を行う一方、督

促状の封筒に「消費者金融など高金利な借金の返済で納税が行き詰まっている方はご相談ください」と記した用紙を入れ相談者の掘り起こしを行っている。市の催告書の封筒に相

談窓口等を記した用紙を同封できないか。

財務部長 納税に行き

文言の削除を求めた戸田市の納税催告書



詰まっている方が、早めに相談してもらえよう催告書に記載する。

議員 現在、市の催告

書には、差し押さえとなる「あなたの社会的信用は大きく失われます」と、脅しとも取れる文言が

ある。削除すべき。

財務部長 催告書作成

から年数が経過しているため、議員指摘の記載も含め、全体的に見直しを進める。

健康長寿入浴事業の 事業維持と充実を

議員 健康長寿入浴事業の実態調査の目的は。

福祉部長 公衆浴場が

東部地区に偏っており、

浴場数や利用者数が減少する中で市の補助額を一定とする妥当性、受益者負担の公平性、公衆浴場の行政支援の観点など、課題解決に向けて検討するため調査を実施した。

議員 この事業は、高齢者に大変喜ばれ利用されている。今後は、利用者や事業者の声も聞き、事業維持と、より一層の充実を図るよう強く要望する。

子どもや高齢者など社会的弱者の視点を生かすことであり、地域の防災力向上につながる。



議員 女性
の視点を
防災対
策に生か
すことは、

東京都では、女性の視点を生かした「東京くらし防災」の冊子を発行し好評を得ている。本市も、読みやすく、分かりやすく、暮らしの中で防災意識を促す、お役立ち防災ハンドブックを作成しては。

防 災

女性の視点を生かした
ハンドブックの作成を

「重要、改訂時に検討する」

手塚 静枝 議員

東京では、女性の視点を生かした「東京くらし防災」の冊子を発行し好評を得ている。本市も、読みやすく、

障がい者支援

戸田市にも重度心身障がい者の
入所施設を

「新たに施設の整備は難しい」

むとう 葉子 議員



議員 戸
田市にも
医療的ケ
アが必要
な重度心

福祉部長 新たに入所施設の整備は難しい。現在ある市内施設を活用し、適切なサービス利用について考える。

身障がい者を受け入れる入所施設が欲しいとの声がある。「親なき後」を考え、入所施設を造るべき。



▲女性視点の防災ブック
(出典：のがみ純子東京都議会議員ホームページ)

危機管理監 4月に、改訂版防災ハザードブックを作成・配布した。女性の視点は重要。次の改訂時に検討する。

犬のふん害対策を
議員 道路に放置された犬のふんを減らすた

議員 学校での取り組みと市の申請書類等における配慮は。

LGBTQ等、性的少数者への支援充実を
福祉部長 今後の研究課題とする。



▶保健室前に掲示されているポスター

市民生活部長 申請書では自由記載としていたものがある。全庁的に配慮を働きかけ、相談しやすい工夫をする。

する研修会を実施。校内に書籍やポスターを掲示する学校も。悩みを抱える児童生徒からの相談体制を整える。

マイナンバー提供拒否に対して適切な対応を

議員 加齢に伴う虚弱化(フレイル) 予防と

「フレイル」予防を

環境経済部長 さらなる対策が必要と考え、ふんの持ち帰り強化策として検討していく。

め、ふんの周囲を黄色のチョークで囲い、飼い主に警告する「イエローチョーク作戦」を実施し、飼い主のマンナ向上を図っては。

議員 国や県の支援体制の動向を注視していく。

「フレイル」予防を

福祉部長 介護予防事業の中で「フレイル」予防の考え方を取り入れて進めている。

して、自分の体力低下のリスクに気づき、生活習慣を見直すための「フレイル」予防は。

総務部長 国の方針等に基づき、手続きに必要な書類の提出を受けた上で対応している。

議員 各種手続きの申請者が、個人情報流出などを懸念し、マイナンバーの提供を拒否したときの窓口対応は。

マイナンバー提供拒否に対して適切な対応を